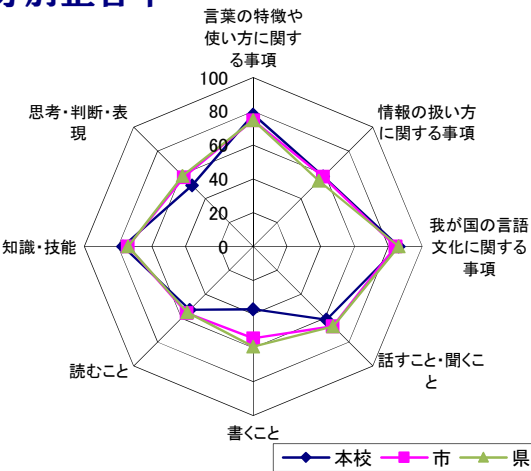


宇都宮市立桜小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	78.2	74.7	74.8
	情報の扱い方にに関する事項	58.6	58.4	55.0
	我が国の言語文化にに関する事項	86.2	84.3	86.1
	話すこと・聞くこと	61.2	66.7	66.9
	書くこと	37.1	54.3	59.3
	読むこと	53.0	55.6	55.2
観点	知識・技能	77.1	74.1	74.0
	思考・判断・表現	51.1	58.0	59.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○漢字の読みは正答率が100%であった。漢字の書くことについては、平均を上回ったものの、送り仮名がある漢字の正答率に課題が見られた。 ●ローマ字表記の読みについては、課題が見られる。	・漢字の読み書きについては、引き続き、朝の学習や宿題等で繰り返し練習し、定着を図るよう指導していく。 ・ローマ字表記の読みの力を定着させるために、クロームブックを利用した学習を通してローマ字入力の定着を図る。
情報の扱い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均とほぼ同じである。 ○国語辞典の使い方の理解では、辞書に掲載されている数種類の意味から選ぶ力が問われ、市の平均とほぼ同じであった。	・単元の漢字の学習や意味調べなどで、辞書を引くことを習慣化できるよう、意図的・計画的に指導していく。
我が国の言語文化にに関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○漢字のへんやつくりを理解しているかを問う問題では、正答率が86.2%とよく理解できている。	・今後も、新出漢字を学習する際に、へんやつくりを意識して指導することで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることへの理解が深まるよう、学習指導を工夫していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ○司会者の話し方の工夫を捉える問題では、市の平均より、10.9ポイント上回った。 ●司会の役割を果たしながら話し合い、考えをまとめる問題で課題が見られる。	・大事なことを正確に聞き取ることができるようにするために、メモを取りながら聞くような学習活動を意図的に設定していく。
書くこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ●自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書くことができていない児童は50%程度だった。	・「書く」経験の充実を図る。日記のように自由な文章だけでなく、「条件付きのテーマ作文」を実施する。ワークシートを工夫することで型を基にした文章が書ける力を身に付けさせていく。また、学習の振り返りを書く時に視点に沿った文を書かせていく。
読むこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ○物語文を読んで登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉える問題については、市の正答率を上回った。 ●説明文を読んで、叙述を基に段落の内容を捉える問題では、情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約する問題について課題が見られる。	・物語の読み取りでは、登場人物の気持ちや、場面の様子を表す言葉に注目しながら、登場人物の心情や物語の情景等を捉え、読みを深めることができるよう指導を継続する。 ・説明文の読み取りでは、事柄の内容や説明の順序などに気を付けながら、意味段落を意識し、丁寧に読み進めるよう指導する。また、段落ごとに要約する学習を積極的に取り入れる必要がある。